



“過渡期”ならではの実験、挑戦から 新たな舞台芸術表現を見出す

開場から20年あまり、世田谷パブリックシアターは、今、新たな局面を模索する過渡期に差し掛かっているように感じます。この劇場がここまで、日本の舞台芸術の先頭を走ってこられたのは、芸術に理解の深い、区

民の方々のエネルギーに支えられてきたからです。ただ、そうして築かれてきたものも、時間の経過と共に次第に洗練され、一種の落ち着きをもつようになる。これからは、これまでと同様のニーズにも応えつつ、さらにそこからジャンプする、時にはお客様を挑発するようなものづくりもいかなければならないのではないかと考えています。

2019年度に新作を発表していただく前川知大さん、倉持裕さんは共に劇作家として、今、非常にノッている方々です。昨年の『The Silver Tassie 銀杯』に引き続きご登場いただく森新太郎さんもまた、さまざまな挑戦をしつつ、あえて自身のスタイルを崩そうとする気概をもっている。ですから皆さん、よく時代を見極めた「過渡期の作品」として意義あるものをつくってくださるのではないか。なかでも倉持さんの作品は、これまでのシアタートラムではなく、今回初めて、パブリックシアターで上演されることになりました。小劇場の空間は、人物同士の関係性だけでも埋められる。しかし、中劇場になると、もうひとつ演出家自身の眼差しを広げなくてはならない。前川さんが初めてパブリックシアターで作品をつくられた時（2011年『奇怪其ノ式』）には、ベテランの美術家・堀尾幸男さんとのコンビが成功を呼びました。今回もそういった新しい出会い、事件が起こる可能性を探りたいですし、お客様には是非、その瞬間に立ち会っていただきたいと思います。

一方、再演となるケラリーノ・サンドロヴィッチさんの『キネマと恋人』、小山ゆうなさん演出の『チック』も、世田谷パブリックシアターらしい、再演の価値ある作品です。『キネマと恋人』は、時代劇という映像文化と演劇とを融合させたKERAさんの意欲作で、初演はシアター

トラムでの上演でしたが今回は「是非、パブリックシアターで」とお願いしました。また『チック』は全国公演も予定しています。こうして過去の世田谷発の作品を、その時に変容させながら上演するのも重要です。それが劇場の「財産」ということですし、今後はさらにその中から、大きな劇場でロングランする作品が出たり、あるいは学校での巡回公演が生まれたりするような展開もあるといいですね。

また、近年では、ワークショップやレクチャーなどを通し、さまざまなかたちで劇場、演劇と地域とを結びつける活動が全国的に広がっています。世田谷パブリックシアターは専門の学芸担当を置いてこうした活動に携わってきた先駆者でもあり、これからも『地域の物語』シリーズ、『世田谷アートタウン』をはじめとする独自の活動に取り組んでいくつもりです。

現代の社会の流れには、どうしても、「わかりにくくて説明が必要なものはダサい」とか「面倒は避けたい、勉強はしたくない」という傾向を感じてしまいます。「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかく……」とは、井上ひさしさんの名言ですが、確かにそれにはかなりの経験値が必要です。とはいっても、やっぱり私は、演劇は「言葉」であるとも思っています。言葉によってつづられた観念をどのように舞台上で視覚化、聴覚化するか。舞台のつくり手の人たちには、まず、その限界に挑んでほしい。たとえば映像などのテクノロジーを使って簡単に説明する手法もあるでしょう。でも、そこをあえて禁欲して発見するものだってあるはずです。そういう「わからなさ」「不便さ」をめぐる実験やもがきの中から、新しい舞台芸術表現のあり方を発信していく。その挑戦の姿勢が、世田谷パブリックシアターならではの「色」になるといいなと思います。

[取材・文：鈴木理映子]

野村萬斎

世田谷パブリックシアター芸術監督

チケット購入のご案内

世田谷パブリックシアター チケットセンター

キャロットタワー5階
Tel. 03-5432-1515
電話・窓口 10:00~19:00
年中無休(年末年始を除く)

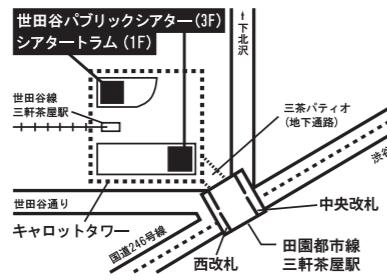
世田谷パブリックシアター オンラインチケット

PC・スマホ <https://setagaya-pt.jp/>
携帯 <https://setagaya-pt.jp/m/>

アクセス

三軒茶屋駅 直結
[東急田園都市線(渋谷より2駅・5分)・東急世田谷線]

〒154-0004
世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー内
Tel. 03-5432-1526 <https://setagaya-pt.jp/>



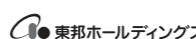
ご協賛・ご協力いただいている企業



アサヒグループホールディングス



東急電鉄



トヨタ



ブルームバーグ

Anne & Valentin

リュネット アン・バレンタイン



スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団



アーツフルランダーズ



ベルギー
大使館
在東京

*2019年4月時点

世田谷パブリックシアター
SETAGAYA PUBLIC THEATRE

世田谷パブリックシアター

SETAGAYA
PUBLIC
THEATRE



シード・アーティスト・アンド・アーティスティック・ディレクター

4

ダンス部門 | 世田谷パブリックシアター 音楽部門 | シアートラム 4月28日[日]~5月6日[月・休]

世田谷区民と劇場がともにつくりあげる夢のステージ

『フリーステージ2019』

出演=世田谷区民団体約60組



5

世田谷パブリックシアター 5月15日[水]

毎回多彩なゲストを招き、「表現の本質」に迫る芸術監督企画

『MANSAI○解体新書その弐拾九』

「発酵」～ジャパンカルチャーという文化変容
アカルチュレーション

出演=野村萬斎 TAKAHIRO(上野隆博) 山田文彦



6

世田谷パブリックシアター 6月8日[土]~6月23日[日]

映画愛に満ちた奇想天外なロマンティック・コメディの大傑作。
オリジナル・キャスト、スタッフが再結集、3年ぶり、待望の再演!

世田谷パブリックシアター+KERA・MAP #009

『キネマと恋人』

台本・演出=ケラーノ・サンドロヴィッチ 出演=妻夫木聰 緒川たまき ともさかりえ ほか



7

世田谷パブリックシアター 7月

幅広いジャンルの多彩な表現者・アーティストとともに新たな芸術表現を模索する、
野村萬斎芸術監督による特別作品を創作。

『MANSAI○解体新書—特別版—』

出演=野村萬斎 ほか



シアートラム 7月

2017年に日本初演し数々の賞を受賞したドイツ発少年2人の
瑞々しい夏の冒險物語、待望の再演!

『チック』

原作=ヴォルフガング・ヘルンドルフ 上演台本=ロベルト・コアル 翻訳・演出=小山ゆうな 出演=柄本時生 篠山輝信 土井ケイ特 那須佐代子 大鷹明良



8

ステージ編

シアートラム 8月3日[土]~8月4日[日]

毎夏恒例企画! アーティストの個性あふれる絵本の読み聞かせ
子どもとおとのための○読み聞かせ

『お話の森』

出演=ROLLY(8/3)、片桐仁(8/4)



世田谷パブリックシアター 8月17日[土]~8月18日[日]

日野皓正と世田谷区の中学生のジャズビッグバンドによる、大迫力のコンサート

『日野皓正 presents “Jazz for Kids”』

出演=日野皓正 Dream Jazz Band ほか



世田谷パブリックシアター 8月

コンテンポラリーダンス界を代表するコンドルズが再び登場。
ダンスにとどまらないエンターテイメントをお届け

『コンドルズ公演』

振付・演出=近藤良平 出演=コンドルズ



ワークショップ編

小学生／中学生／高校生のための演劇ワークショップを各種開催



10

キャロットタワー周辺 10月19日[土]~10月20日[日]

三軒茶屋の街が、ちょっと風変わりな「アートタウン」に変貌する2日間

世田谷アートタウン2019

『三茶de大道芸』

出演=国内外のパフォーマー約50組



世田谷パブリックシアター 10月18日[金]~10月20日[日]

灰色の世界で、未来をみつめて立ち上がる孤高の天使、..
現代サーカス界の若きカリスマ、ラファエル・ボワテル最新作!

世田谷アートタウン2019関連企画

カンパニールーブリエ/ラファエル・ボワテル

『When Angels Fall／地上の天使たち』

振付・演出=ラファエル・ボワテル



世田谷パブリックシアター 10月~11月

「奇ッ怪」シリーズを手掛けてきたイキウメ・前川知大が新たな演劇作品を立ち上げる

『前川知大 作・演出 新作公演』

シアートラム 10月下旬

今後上演予定の作品や実験的なリーディングを通して、舞台芸術の面白さに出会う

『戯曲リーディング』

演出=野村萬斎



12

シアートラム 12月

シアートラムから次代を担うアーティストを発信。劇場が期待を寄せる新しい才能との出会いをお届け

『シアートラム ネクスト・ジェネレーションvol.12』



1

世田谷パブリックシアター 1月~2月

演劇的ダイナミズムあふれる衝撃作を森新太郎×世田谷パブリックシアターの強力タッグで

『森新太郎演出作品』



2

世田谷パブリックシアター 2月~3月

多彩な才能で縦横無尽に活躍する倉持裕が世田谷パブリックシアターに登場

『倉持裕 作・演出 新作公演』



3

世田谷パブリックシアター 3月

驚愕のテクニックと奇想天外なイメージ、全世界にファンを持つダンスカンパニーの新作

『ピーピング・トム『マザー』』

シアートラム 3月

地域の多世代にわたる参加者が語らい、
観客とともに考える発表会

『地域の物語2020』



世田谷パブリックシアターの 多彩な普及啓発・人材養成事業

地域の人々が、気軽に参加できるものから、じっくり取り組むものまで、多様な演劇・ダンスワークショップやレクチャーの企画を実施いたします。また、世田谷区の劇場として、地域のNPOや非営利団体、学校等と連携しながら、地域が抱える課題に対して文化芸術を活かすプログラムを開催し、豊かな地域社会の形成と活性化を目指してまいります。こうした事業を支える専門家の育成として、ワークショップの進行役・研究者・大学生・舞台技術者などを対象としたプログラムを実施し、活動が継続できる環境整備を行います。

コミュニティプログラム

▶演劇・ダンスワークショップ

劇場ツアーやディ・イン・ザ・シアター
ごちゃまぜワークショップ／おとなワークショップ ほか

▶子どものためのワークショップ

小学生のための演劇・ダンスワークショップ
世田谷パブリックシアター演劇部中学生の部
高校生のための演劇・ダンスワークショップ

▶地域の物語ワークショップ



学校・施設との連携プログラム

▶学校のためのワークショップ

かなりゴキゲンなワークショップ巡回団
先生のための演劇ワークショップ ほか

▶世田谷区立中学校演劇部支援

▶区内施設連携プログラム

▶移動劇場

世田谷パブリックシアター@ホーム公演
世田谷区内の高齢者施設ほかで上演
『チャチャチャのチャーリー～10周年だよ、
チャーリー誕生秘話～』脚本・演出=ノゾエ征爾



研究育成プログラム

▶観客育成プログラム

舞台芸術のクリティック
世田谷パブリックシアター ダンス食堂 ほか

▶専門家育成プログラム

大学生インター
SPTラボラトリー
舞台技術講座 ほか

